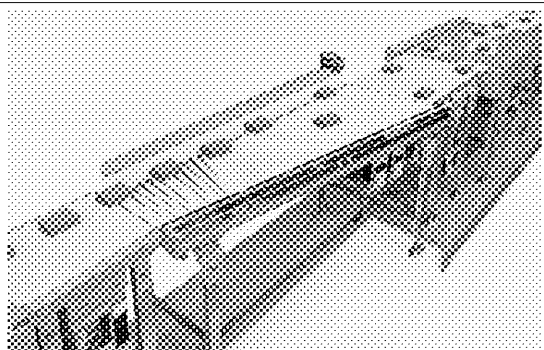


薄物を片寄せ整列

オークラ輸送機がコンベア

オークラ輸送機（兵庫県加古川市、大庫良一社長）は、厚さ数ミリの薄い搬送物も片側に寄せて整列できるサイドベルト付きスキャンドコンベア「MFAS」を発売した。ラインアップはローラー幅30



0ミリの、400ミリの、500ミリの、600ミリの4機種。消費税抜きの参考価格はローラー幅300ミリのタイプで93万円に設定した。食品業界に向けて年間20台の販売を目指す。新機種は搬送物を斜めに誘導し、サイドベルトで姿勢を整えながら1列に整列する。レトルトパウチや小箱な斜めに誘導した後、サイドベルトで1列にそろえる。

どこに対応するため、サイドベルトの有効幅を50ミリにした。搬送物が乗るローラーの高さよりサイドベルトの下を10ミリ低く設計することで、薄物でもベルトの隙間に入り込まずに搬送できる。

せんべいやティーバッグなどの薄物を搬送するラインでは、後工程の装置に投入する際、散らばった状態で流れてくる製品を1列に整列させる必要がある。新機種は

パラレルリンクロボットなどに比べ、設置や取り扱いを容易にした。

オークラ輸送機はコンベアによる連続搬送とコストを抑えたライン構築を提案する。